

学校関係者評価報告書

愛媛県立三島高等学校 (2)

評価実施日 令和6年2月14日 (水)

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 評価アンケートの最終評価について

- ・ 実験や実習の回数については、事前に決めている回数がある、その回数について評価しているのか。
- ・ 保護者のアンケート調査にもあるが、教職員が生徒理解に努めている様子がよくわかる。
- ・ 三島高校には特色が少ないという評価もあるが、他の学校と比べても、そんな感じは受けていない。
- ・ 今年度の三島高校の活躍（新聞報道やテレビ）を拝見して、一生懸命な努力がよくわかり、地元でこういった学校があることをありがたく感じます。

- ・ 何回という回数を決めての評価はしていない、生徒一人一人の感じ方で評価をしてもらっている。
- ・ 生徒や保護者との面談を実施するなど有効活用できているが、今後更に連携を密にしていく。
- ・ 特色という点では、創立100周年を迎え、記念行事等においても、伝統や地域の方の期待を強く感じ、教職員、生徒一同この伝統を強く守っていききたい。
- ・ 今後とも、「夢を叶える三島高校」を合言葉に、生徒ファーストの取り組みに努めていきたい。

2 自己評価表の最終結果について

- ・ 全体的な学力低下は、高校のみならず小中でも同じことが言える。コロナウィルス感染症の影響もあるが、この2極化を皆さんで乗り越えてほしい。
- ・ 昨年度のアンケートから、食生活に関する項目を入れていただいたが、概ね良好であるので安心した。
- ・ 生徒たちの学びのスタイルも多様化しつつある。ただしわからないことや不安なことは「先生に聞く」ことが大切であると思う。そういった環境づくりをお願いしたい。

- ・ 生徒一人一人の目標に、教職員がしっかりとサポートできる体制を整えていきたい。
- ・ ヤングケアラーやネグレクト対策においても、貴重な質問であると思う。今後も続けていきたい。
- ・ 生徒たちが抱える問題も様々であるが、教員と生徒の関係や良い意味でフラットな関係であり、気軽に質問できる関係性を築いていきたい。

3 次年度に向けての提言等

- ・ 教職員の働き方改革においては、授業や学校行事、生徒・保護者対応等大変であると感じるが、ぜひ先生方の健康管理の意味でも、学校における環境整備をお願いしたい。
- ・ 入学する生徒たちの学習における習熟度にかかなりの差があると思われるが地道な対応をお願いしたい。
- ・ 入学を希望する中学生に対して、高校としてのアピールできる点を増やしてほしい。
- ・ 最近の生徒は、全体的におとなしい生徒が多いように思います。自分の意見をしっかりと持って、人前で意見を述べるができる生徒育成をお願いしたい。
- ・ 先生も生徒も多忙だと思うが、学校・保護者・地域が一体となった生徒育成に努めていただきたい。

- ・ 年間3回の「悩みアンケート」及び「三島高校アンケート」を実施しているが、昨年度から新たに、24時間・365日対応にて、早期発見・早期対応できる「WEB三島高校SOS相談窓口」を開設し、生徒の悩みに迅速に対応できる体制（一人一台端末等利用）を整えるなど迅速な対応を心がけている。教職員の働き方改革の意味でも、仕事のデジタル化や「5時までに帰る日」を設けるなど教職員の健康管理にも努めている。
- ・ 生徒数の減少により、生徒の学習における習熟度の差はあるものの、教職員が一丸となって地道な個別指導や補習等により生徒の学力向上に努めたい。
- ・ 時間が許す限り地域との関わりも深め、ボランティア活動や地域の活動への参加を深め、生き方・考え方等の啓発・協力体制を図りたい。